

平成29年度 行政評価の取組結果（上下水道局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				H29年度		H28年度		人件費（目安）		H29年度				H31年度予算要求に向けた施策の方向性		
					指標名等	現状値（基準値）	H28年度	H29年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価		局施策評価の理由及び課題	
II-1-1 (4)-④ 総合的な災害対策の推進	1	浸水対策事業	下水道計画課	近年、集中的な豪雨に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、公共下水道の整備を進め、流域全体の浸水に対する安全度の向上を図る。	浸水被害の抑制	目標	—	—	—	浸水被害の抑制	3,600,000	3,785,504	3,865,844	165,200	課長	0.80 人	順調	雨水整備率について、目標どおり達成した（目標：72.1%、実績：72.1%）ため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 雨水整備が予定どおり進み、浸水被害の抑制に寄与していると考えられるため、「順調」と判断。 【課題】 浸水対策と合流改善を併せ、一体的に取り組むなど、効率的な整備を行う必要がある。	今後も整備箇所ごとの現場の状況に応じた最も経済的な方法を検討し、整備を行っていく。
						実績	—	—	—						係長	2.70 人					
						達成率	—	—	—						職員	17.20 人					
II-1-1 (4)-⑤ 公共施設などの耐震化の推進	2	地震対策事業（水道施設）	計画課	大規模な地震が発生した場合においても、安全で安定的な給水を確保するため水道施設の耐震化を実施するもの。	耐震補強対象施設整備率	目標	浄水 33.2% 配水池 48.3%	浄水 33.2% 配水池 51.7%	—	浄水施設耐震化率 59.2% 配水池耐震化率 54.1% (H32年度)	348,868	131,945	127,735	4,610	課長	0.04 人	順調	平成29年度の目標である水道施設耐震化箇所（3箇所）を予定どおり発注し、耐震補強を進めているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 中期目標に対して概ね順調に耐震化が進んでいるため、「順調」と判断。 【課題】 下水道施設について、ポンプ場を稼働しながらの工事となるため、施工時間・期間に制限があり、工事の難易度が高い。そのため、入札不調がおきており、今後、入札不調対策を行う必要がある。	水道施設について、引き続き、計画どおり耐震化を実施していく。 下水道施設について、単年度契約を複数年契約へ見直ししたり、工期割りを見直ししたりするなどして、入札不調対策を行いながら確実に耐震化を進めていく。
						実績	浄水 33.2% 配水池 48.3%	浄水 33.2% 配水池 51.7%	—						係長	0.10 人					
						達成率	100.0 %	100.0 %	—						職員	0.42 人					
	3	地震対策事業（下水道施設）	施設課	大規模な地震が発生した場合においても、最低限の下水処理が行えるように下水道施設の耐震化を実施するもの。	下水道施設の耐震化率（ポンプ場、浄化センター水処理施設）	目標	5.8 %	8.8 %	—	18.2% (H36年度)	1,040,329	454,443	813,795	10,690	課長	0.06 人	順調	平成29年度は入札不調により耐震工事の工程に遅れが生じているが、目標に対して80%以上の達成率であったため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 研修や視察の受入れを積極的に実施しているだけではなく、この協力事業を通じ、開発途上国の技術力向上、本市のPRやイメージアップにも寄与していることから、「順調」と判断。 【課題】 今後も国等関係機関のスキームを利用するなど本市のコスト削減とともに効率的、効果的な事業実施を図る必要がある。	日明浄化センター（ビクターセンター）やウォータープラザなどの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。
						実績	5.8 %	7.1 %	—						係長	0.25 人					
						達成率	100.0 %	80.7 %	—						職員	1.00 人					
II-3-1 (4)-② 国際協力・交流の推進	4	上下水道技術の国際協力	海外事業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市、ミャンマー国マンダレー市、インドネシアなど）への職員派遣や海外からの研修員受入れなどにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	国際技術協力でアジアの発展に貢献	目標	—	—	—	開発途上国の技術向上	35,258	17,891	24,526	46,400	課長	0.60 人	順調	世界各国から研修生を継続的に受入れ（目標：255人、実績：410人）、上下水道技術の向上を図っているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 研修や視察の受入れを積極的に実施しているだけではなく、この協力事業を通じ、開発途上国の技術力向上、本市のPRやイメージアップにも寄与していることから、「順調」と判断。 【課題】 今後も国等関係機関のスキームを利用するなど本市のコスト削減とともに効率的、効果的な事業実施を図る必要がある。	日明浄化センター（ビクターセンター）やウォータープラザなどの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。
						実績	—	—	—						係長	2.30 人					
						達成率	—	—	—						職員	2.20 人					

平成29年度 行政評価の取組結果（上下水道局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																		
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				H29年度		H28年度		人件費（目安）		H29年度				H31年度予算要求に向けた施策の方向性	
					指標名等	現状値（基準値）	H28年度	H29年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価		局施策評価の理由及び課題
Ⅲ-1-(3)-① 安全で安定しておいしく飲める水道の整備	5	配水管更新事業	計画課	老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、赤水、不出水の解消や管破損事故を防止し、安全で安定的な給水を確保する。	安全で安定的な給水の確保	—	目標 —	—	—	H32年度までに40年以上経過した普通・高級鑄鉄製の配水管がない状態	4,200,000	5,092,335	4,932,367	296,125	課長 1.00人 係長 5.10人 職員 31.15人	順調	平成29年度目標である配水管更新目標50kmに対し、50kmの配水管更新工事を終えているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業が予定どおり進んでいるため、「順調」と判断。 【課題】 アクアフレッシュ事業（学校の直結式給水の推進）について、学校の改築等に併せて直結化（増口径）を実施することとしており、教育委員会と協議をする必要がある。	配水管更新事業について、第5期更新計画に基づき、計画どおり更新を実施していく。 アクアフレッシュ事業（学校の直結式給水の推進）について、給水管の増口径が必要な学校も助成の対象として事業を継続することとし、今後も、教育委員会と協議しながら確実に直結化を実施していく。
	6	アクアフレッシュ事業（学校の直結式給水の推進）	配水課	水槽式給水の小中学校等では、近年の児童、生徒数減による使用水量の減少や、休日などに水を使用しないことなどにより、貯水槽内に水が滞留し、水のおいしさが低減する状況にある。そこで、上下水道局では市立小中学校等の直結式給水への切替えを推進するため、直結化の支援を行う。	学校直結化数※対象学校数は平成28年度は201校、平成29年度以降は202校。	153校（H26年度）	目標 163校 165校	164校 166校	166校以上（H32年度）	16,000	4,654	7,006	2,950	課長 0.05人 係長 0.05人 職員 0.25人	順調	設定した目標を上回るペースで実施できているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業が予定どおり進んでいるため、「順調」と判断。 【課題】 アクアフレッシュ事業（学校の直結式給水の推進）について、学校の改築等に併せて直結化（増口径）を実施することとしており、教育委員会と協議をする必要がある。		
Ⅲ-1-(3)-③ 快適で良質な生活環境をつくる下水道の整備	7	合流式下水道改善事業	下水道計画課	合流式下水道で整備された地区は、大雨時に雨水で希釈された未処理下水の一部が川や海に流れ出ることがある。放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減するため、合流式下水道の改善に努め、良質な水環境をつくる。	良質な水環境の実現	—	目標 —	—	—	合流改善の達成	2,300,000	3,349,438	3,134,892	121,150	課長 0.60人 係長 1.75人 職員 12.90人	順調	合流改善達成率について、目標どおり達成した（目標：54.5%、実績：54.5%）ため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 対策が目標どおり進み、合流式下水道の改善が進んだため、「順調」と判断。 【課題】 浸水対策と合流改善を併せ、一体的に取り組むなど、効率的な整備を行う必要がある。	今後も整備箇所ごとの現場の状況に応じた最も経済的な方法を検討し、整備を行っていく。
V-1-(4)-② 再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成	8	小水力発電設備設置事業	浄水課	水道施設における再生可能エネルギーを有効に利用するため、小水力発電の整備推進を図るもの。	再生可能エネルギーの有効利用	—	目標 —	—	—	再生可能エネルギー有効利用の推進	318,120	393,471	0	1,340	課長 0.01人 係長 0.01人 職員 0.15人	順調	既設水力発電設備について平成27年度から更新工事に着手し、予定通り平成29年度に完了したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 予定どおり、水力発電設備機器の工事が完了し、問題なく稼動しているため、「順調」と判断。 【課題】 再生可能エネルギーに関する国の制度が毎年のように変わるので、引き続き、国制度の動向を見極めていく必要がある。	再生可能エネルギーの有効利用を念頭に、引き続き、国制度の動向を見極めて対応していく。
Ⅵ-3-(3)-④ 下水汚泥などの循環利用	9	下水道資源の有効利用	施設課	下水汚泥のバイオマスエネルギーとしての燃料化や、さまざまな資源の有効利用を行う。	下水汚泥の資源化率	95.0%（H21年度）	目標 98.0% 99.0%	98.9% 98.8%	99.0%（H32年度）	1,944,614	1,824,806	1,695,838	127,275	課長 1.00人 係長 2.33人 職員 12.33人	順調	汚泥燃料化施設が年間を通して稼動し、概ね目標に近い資源化率を達成出来たため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 汚泥燃料化施設が年間を通して稼動し、概ね目標に近い資源化率を達成出来たため、「順調」と判断。 【課題】 汚泥燃料化施設の安定稼動により、資源化率を維持する必要がある。	引き続き、下水道資源を有効利用していく。	

平成29年度 行政評価の取組結果（上下水道局）

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施							【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				H29年度		H28年度		H27年度		H29年度		H31年度予算要求に向けた施策の方向性			
					指標名等	現状値(基準値)	H28年度	H29年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価		評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題
VII-1-(3)-② 上下水道、消防、交通などの分野における国際協力の推進	10	上下水道技術の国際協力	海外事業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市、ミャンマー国マンダレー市、インドネシアなど）への職員派遣や海外からの研修員受入れなどにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	国際技術協力でアジアの発展に貢献	目標	—	—	—	—	35,258	17,891	24,526	46,400	課長	0.60 人	順調	世界各国から研修生を継続的に受入れ（目標：255人、実績：410人）、上下水道技術の向上を図っているため、「順調」と判断。	【評価理由】 国際協力事業については、研修や視察の受入れを積極的に実施しているだけではなく、この協力事業を通じ、開発途上国の技術力向上、本市のPRやイメージアップにも寄与している。 海外水ビジネスについては、引き続き北九州市海外水ビジネス推進協議会を軸にして、カンボジア、ベトナムなどでビジネス案件を受注していることから、「順調」と判断。	国際協力事業については、日明浄化センター（ビクターセンター）やウォータープラザなどの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。 海外水ビジネスについては、北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び本市内企業の上水道に係る技術や製品をアジアを中心としたビジネスを対象国に発信し、受注拡大を目指す。
	11	海外水ビジネスの推進	海外事業課	上下水道分野などの海外水ビジネスは、2025年には約87兆円規模の市場に成長することが見込まれ、国の「未来投資戦略」においてもアジアを中心とした水インフラ分野の海外展開が主要分野に位置づけられている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて、「ウォータープラザ北九州」を中核施設とした水ビジネスの国際戦略拠点づくりを進める。	上水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	46,100 千円	14,539 千円	—	—	課長	1.40 人				
				下水道に関するビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	125,703	60,690	96,342	81,600	係長	3.70 人					
						実績	0 千円	2,175 千円	—	—					職員	3.80 人				
						達成率	—	—	—	—										

平成29年度 行政評価の取組結果（上下水道局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				H29年度			H28年度		H27年度		H29年度	H31年度予算要求に向けた施策の方向性					
					指標名等	現状値(基準値)	H28年度	H29年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数			事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題	
VII-2-(1)-① アジア低炭素化センターを核とした都市インフラビジネスの推進	12	海外水ビジネスの推進	海外事業課	上下水道分野などの海外水ビジネスは、2025年には約87兆円規模の市場に成長することが見込まれ、国の「未来投資戦略」においてもアジアを中心とした水インフラ分野の海外展開が主要分野に位置づけられている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて、「ウォータープラザ北九州」を中核施設とした水ビジネスの国際戦略拠点づくりを進める。	上水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—	—	海外水ビジネスを通じた地元企業との振興と国際貢献	125,703	60,690	96,342	81,600	課長	1.40	順調	現在カンボジアやベトナムを中心に進めている国際技術協力を通して築いた信頼関係を土台に、官民一体となり、海外水ビジネス案件や北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業への受注に繋げている。 実績として、平成29年度はカンボジア、ベトナムでビジネス案件を6件受注したため、「順調」と判断。 成果の状況は以下のとおり ・シムリアップ上水道拡張事業（入札補助・施工管理） ・タクマウ事業権無償（情報収集・確認調査業務） ・スバイリエン・フルサット無償拡張事業（準備調査業務） ・ベトナム地方6都市U-BCF実証実験（中小企業海外展開支援事業） ・カンボジア民営水道事業配水管実施設計照査（技術アドバイザー） ・下水道台帳整備業務（ベトナム・ハイフォン）	順調	【評価理由】 引き続き北九州市海外水ビジネス推進協議会を軸にし、カンボジア、ベトナムなどでビジネス案件を受注していることから、「順調」と判断。 【課題】 今後も協議会と連携し、事業に取り組むことで地元経済の活性化を図る。	北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び本市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心としたビジネス対象国に発信し、受注拡大を目指す。		
						実績	46,100	14,539													0	2,175
						達成率	—	—													—	—
						目標	—	—													—	—
				下水道に関するビジネス案件の受注	目標	—	—	海外水ビジネスを通じた地元企業との振興と国際貢献	125,703	60,690	96,342	81,600	係長	3.70	順調	現在カンボジアやベトナムを中心に進めている国際技術協力を通して築いた信頼関係を土台に、官民一体となり、海外水ビジネス案件や北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業への受注に繋げている。 実績として、平成29年度はカンボジア、ベトナムでビジネス案件を6件受注したため、「順調」と判断。 成果の状況は以下のとおり ・シムリアップ上水道拡張事業（入札補助・施工管理） ・タクマウ事業権無償（情報収集・確認調査業務） ・スバイリエン・フルサット無償拡張事業（準備調査業務） ・ベトナム地方6都市U-BCF実証実験（中小企業海外展開支援事業） ・カンボジア民営水道事業配水管実施設計照査（技術アドバイザー） ・下水道台帳整備業務（ベトナム・ハイフォン）	順調	【評価理由】 引き続き北九州市海外水ビジネス推進協議会を軸にし、カンボジア、ベトナムなどでビジネス案件を受注していることから、「順調」と判断。 【課題】 今後も協議会と連携し、事業に取り組むことで地元経済の活性化を図る。	北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び本市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心としたビジネス対象国に発信し、受注拡大を目指す。			
実績	0	2,175	0	2,175																		
達成率	—	—	—	—																		
目標	—	—	—	—																		
				下水道に関するビジネス案件の受注	目標	—	—	海外水ビジネスを通じた地元企業との振興と国際貢献	125,703	60,690	96,342	81,600	職員	3.80	順調	現在カンボジアやベトナムを中心に進めている国際技術協力を通して築いた信頼関係を土台に、官民一体となり、海外水ビジネス案件や北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業への受注に繋げている。 実績として、平成29年度はカンボジア、ベトナムでビジネス案件を6件受注したため、「順調」と判断。 成果の状況は以下のとおり ・シムリアップ上水道拡張事業（入札補助・施工管理） ・タクマウ事業権無償（情報収集・確認調査業務） ・スバイリエン・フルサット無償拡張事業（準備調査業務） ・ベトナム地方6都市U-BCF実証実験（中小企業海外展開支援事業） ・カンボジア民営水道事業配水管実施設計照査（技術アドバイザー） ・下水道台帳整備業務（ベトナム・ハイフォン）	順調	【評価理由】 引き続き北九州市海外水ビジネス推進協議会を軸にし、カンボジア、ベトナムなどでビジネス案件を受注していることから、「順調」と判断。 【課題】 今後も協議会と連携し、事業に取り組むことで地元経済の活性化を図る。	北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び本市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心としたビジネス対象国に発信し、受注拡大を目指す。			
実績	0	2,175	0	2,175																		
達成率	—	—	—	—																		
目標	—	—	—	—																		